

歴史講座

災害と戦災に学ぶ

期 間	平成 28 年 3 月 5 日～3 月 26 日（毎週土曜日 全 4 回）
時 間	14：00～16：00
会 場	講堂

〔事業趣旨〕

平成 23 年（2011）3 月の東日本大震災は人々に多くの影響を与え、災害に対する人々の意識を大きく変えた。これまでの災害とその教訓の見直しが社会の各方面において行われ、なかでも博物館や図書館といった施設では展示やシンポジウム・講演会という方法によって、災害の歴史やそこからの教訓を広く人々に伝えている。加えて平成 25 年に関東大震災 90 周年を、そして平成 27 年に戦後 70 周年を迎えたことを踏まえ、過去の災害と戦災被害から品川区の歴史を振り返る講座を開催した。

〔講座内容〕

第 1 回 3 月 5 日（土） 受講者数 70 名

「江戸時代の災害と品川宿」

講 師：荻島 聖美（品川歴史館学芸員）

第 2 回：3 月 12 日（土） 受講者数 57 名

「江戸の町に灰が降る ―近世考古学から見る噴火―」

講 師：中野 光将（品川歴史館学芸員）

第 3 回：3 月 19 日（土） 受講者数 53 名

「関東大震災の被害と品川 ―復興記念館の展示資料を中心に―」

講 師：小菌 崇明（東京都復興記念館調査研究員）

第 4 回：3 月 26 日（土） 受講者数 57 名

「東京空襲と品川の被害」

講 師：山辺 昌彦（東京大空襲・戦災資料センター主任研究員）

延べ受講者数 237 名